

仙台市地震ハザードマップ Earthquake Hazard Map

宮城県沖地震（連動型）による液状化危険度マップ
Liquefaction Hazard Map for the Miyagi-oki Earthquake (multi-segment)

泉区版 Izumi Ward

≪ 液状化危険度マップ ≫

このマップは、宮城県第五次地震被害想定調査報告書(令和5年11月)の算定手法に基づいて、市内全体を250m四方に区分した区域(メッシュ)に分割し、地震の規模や震源の距離等から予測される「地盤の液状化の危険度」を表示したものです。

なお、メッシュの境目が地盤の液状化の危険度の境界を示すわけではありません。また、設定した震源特性や地下構造には不確定な部分があるため、地震の発生の仕方によって、実際の液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

≪ 宮城県沖地震(連動型)：想定した地震規模：マグニチュード8.0 ≫

この地震は、平均発生間隔が38年とされる宮城県沖で発生するプレート間地震が、周辺の断層や地震活動と連動して起こるケースであり、過去には、1793年(寛政5年)に発生したことがあると考えられています。なお、1978年(昭和53年)の宮城県沖地震よりも規模が大きいものとされています。

液状化危険度 (PL値：液状化指数) Liquefaction Hazard Level (PL value: Liquefaction Potential Index)

	極めて高い Extremely high	(20<PL)
	高い High	(10<PL≤20)
	やや高い Moderately high	(5<PL≤10)
	低い Low	(0<PL≤5)
	かなり低い Quite low	(PL=0)

